

訂正

前々號(記念號)文苑欄中、薩游稿の訂正左の如し

行

頁九四

同九五

同九六

同九七

同九八

同九九

同九〇

同九一

同九二

同九三

同九四

同九五

同九六

同九七

同九八

同九九

同一二

二二八一六五六四二九六五

二二九六五

二二九六五

二二九六五

二二九六五

二二九六五

二二九六五

二二九六五

二二九六五

幕首寂寂晦上ノ只誤

二字トモ

正署最看最胸令罷漢最開杪滿三逐句切ヲ誤ル

濺カケタリ

峋、句切ヲ誤ル

爲ヲ脱ス

西、句切ヲ誤ル

吾人は敢て問はむと欲す今之所謂學生は果して自己の材能を全うし靈性の無限なる歎求に應へ確實なる安慰を求めつゝあるかこれ陳套の疑問ならむ而かも事實的解釋を促すべきは緊急切當なり嗚呼偉大なる哉自覺的生活釋迦基督は自覺の靈光によりて無上超絶の真理を示現し以て精神的満足を人生に賦與しぬ讀者よ吾人をたゞ現代の思想界を誹謗する速斷する勿れ冷靜に且つ合理的に道徳の頽廢せる所以を熟慮せよ如何の理由をか得来る吾人は單刀直入これを目して各自の生活を自覺的に立脚せざることに伏在すと確信す。社會の師表たるべき紳士にして人道の中堅として日々刻々境遇の作成せる義務的堅上極世觀たる精神的に滅亡しつゝあるなり(蘇嶺)

○詩

一篇

鶴 肋

札立つた、札立つた、武夫原の北の端にザラリ立つた。

何する札か? 教室で品物うせの様に。体操する時書籍やマントを置く所よ。馬鹿だなあ!! あんな處に置くものか。もし私が置きに行つたなら。人の笑の種じやわいなあ。滑稽だなあ。そだなあ。もつと力の入れ所もあらうに。